

種類別明細書(増加資産・全資産用) 記入例

- ◆ 令和7年1月2日から令和8年1月1日までの間に取得した資産を記入してください。
- ◆ 初めて申告される方は、町内に所有する全ての資産を記入してください。
- ◆ 3枚複写(提出用・入力用・控用)となっていますので、上2枚(提出用・入力用)を提出してください。

申告済資産が印字されている『種類別明細書(増加資産・全資産用)』について、控えが必要な場合はコピーをおとりください。

種類別明細書(増加資産・全資産用)									
所有者コード		所有者名		課税標準の特例		課税標準額		摘要	
行番号	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	簿価	税率コード	增加事由
01	1	駐車場アスファルト		00150702	1000000	10			
02	1	フェンス		00150703	500800	15			
03	5	フォークリフト		00150709	1542030	04			
04	6	パソコン		00150711	230000	04			
05									
06									
07									
08									
09									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
小計 3272830									

どちらかに○をつけてください。

所有者名
株式会社 茂野町役場

記入する必要はありません。
電算処理により申告書を作成する場合は記入してください。

資産の種類
数字で記入してください。
構築物……………1
機械及び装置……………2
船 舶……………3
航空機……………4
車両及び運搬具……………5
工具、器具及び備品……………6
※ 手引き1ページを参照してください。

資産の名称等
漢字、カタカナ、数字、英字で記入してください。(20文字以内)

取得年月
資産を実際に取得した年月を記入してください。
《年号》 昭和…3
平成…4
令和…5
《取得月》 1～9月は前に0を記入してください。
【例】令和7年9月
↓
5 0 7 0 9

取得価額
資産を取得するためには要した額(引取運賃や運送保険料、据付費等を含む。)を記入してください。
国庫補助金等で取得した資産で圧縮記帳を行っている場合は、圧縮額も取得価額に含めてください。

耐用年数
耐用年数は法人税又は所得税の申告で用いるもの(『減価償却資産の耐用年数に関する省令』別表第1, 2, 5, 6)と同じ耐用年数を使用してください。
中古資産等を取得し、税務会計上見積耐用年数によっている場合は、その耐用年数を記入してください。

増加事由
該当するものを○で囲んでください。
新品取得……………1
中古品取得……………2
移動による受入れ…3
その他……………4
※ 移動による受入れの場合の取得年月は当初取得した年月を記入してください。

摘要
次のような事項を記入してください。

- ◆ 課税標準の特例の適用がある資産を取得了した場合は、その適用条項
- ◆ 耐用年数の変更があった場合は、その時期及び旧耐用年数
- ◆ 耐用年数の短縮の承認を受けた資産、増加償却の届出をした資産はその旨の表示
- ◆ その他価額の決定に必要な事項

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。